

地域医療を支える大学職員として

私は令和7年8月1日に採用され、医学部・病院事務部医療支援課 地域医療連携室で医療ソーシャルワーカーとして働いています。

地域医療連携室では、患者さんやご家族が安心して治療や療養生活を送れるよう、医療と地域をつなぐ役割を担っています。医療費や福祉制度に関する相談、退院後の生活支援、転院や在宅療養の調整、就学・就労支援など、病気によって生じるさまざまな困りごとについて、患者さんやご家族と一緒に考えながら支援を行っています。また、院内の多職種や地域の関係機関と連携し、一人ひとりがその人らしく生活できるようサポートしています。

私自身、大学病院で働く前は「専門的で難しそう」というイメージを持っていました。しかし、実際に働いてみると、困ったときには気軽に相談できる先輩方が多く、安心して業務に取り組むことができます。患者さんやご家族とお話しする中で、不安だった表情が少し和らいだり、「相談してよかった」と言っただけたりしたときには、この仕事の大切さを実感します。まだ学ぶことの多い毎日ですが、とてもやりがいを感じながら働いています。

人と関わるのが好きな方、誰かの力になりたい方、地域医療に貢献したい方には、とても魅力のある職場です。ぜひ私たちと一緒に、高知の医療を大学職員として支えていきませんか。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

